

通常の学級における包摂力のある好事例

【キーワード】	見通し、役割・活躍の場、学習規律、ルールの明確化、学級目標
【学校、学年】	小学校 【 6 】年
【状況、様子 等】	<p>○児童Kの様子等</p> <ul style="list-style-type: none"> ・正義感が強い、自己中心的な考えがある、人間関係（折り合いをつけること）が難しい面があった。 ・自分の思い通りに行かないと暴言や暴力があった。 ・落ち着くまでに時間がかかり、下校までに話が聞けないことがあった。 ・学習の理解力は高く、リーダーシップがあった。
【対応・工夫】 支援、 合理的配慮、 基礎的環境整備、 学級経営、 支援体制 等	<ul style="list-style-type: none"> ・見通しが持てるように、授業のはじめに本時ですることやゴールを明確に示した。（支援・手だて） ・発問や指示に対して、質問の時間を設け「ここまで質問はありませんか？」と確認をして次に進むようにした。（支援・手だて） ・課題に取り組む場合は、課題の量に合った時間設定をするようにした。終わりまでの時間が視覚的に分かるようにタイマーを活用した。（支援・手だて） ・課題が早く終わったらミニ先生をするという役割を本児に与えた。本児にとって活躍の場があり満足感や充実感があった。（支援・手だて） ・挙手をして発表することや、一人学びの時は静かに取り組むこと等、学級全体の学習規律を整えた。（基礎的環境整備・学級経営） ・体育や遊ぶ時のルールの明確化を心がけた。不明な点はないかを最初に質問し合い、みんなで確認して実施した。（学級経営） ・本児がイライラして気持ちが高ぶっている時にどうすればいいかを周りの児童たちと一緒に考えた。何で怒っているのか、怒っている時にどうしてほしいかを話し合った。（合理的配慮・学級経営） ・学級力を高め、集団づくりを意識した。学級目標を具体的な行動や、分かりやすい言葉で示し、学期末に学級全体で振り返りを行った。達成度を数値化し、グラフで視覚化する工夫をした。（学級経営）
【結果、変容 等】	<ul style="list-style-type: none"> ・本児の気持ちの切り替えの時間が短くなってきた。 ・授業中の役割は、本児にとって活躍の場となり、満足感や充実感につながった。 ・周りの児童が、なんで本児が怒っているのか分かるようになってきた。そっとしておくことや落ち着いてから声をかける等、本児の表情を見て対応することができるようになってきた。 ・本児がイライラして登校した時に「先生話を聞いてください」と自分から言うことができるようになった。殴りたいほどの怒りの気持ちにも折り合いをつけることができるようになった。 ・怒りの気持ちを数字で表せるようになり、自己分析ができるようになった。